

ユネスコ無形文化遺産 岐阜県の伝統と魅力を世界へ発信

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信

岐阜県の誇る遺産が世界に認められました

本県が守り伝えてきた伝統的行事である「高山祭の屋台行事」「古川祭の起し太鼓・屋台行事」「大垣祭の軸行事」を含む全国33件の「山・鉦・屋台行事」が世界に評価され、ユネスコ無形文化遺産に登録されました(日本時間:平成28年12月1日登録)。

岐阜県ではこれまで、ユネスコ世界文化遺産「白川郷合掌造り集落」、ユネスコ無形文化遺産「本美濃紙」、ICID世界かんがい施設遺産「曾代用水」、FAO世界農業遺産「清流長良川の鮎」が登録されています。

これを機に、地元の皆様とともにそれぞれの魅力を一段と磨き、連携を図りつつ、広く国内外に発信していきます。

■問/社会教育文化課 ☎058(272)8759



※「山・鉦・屋台行事」とは

「山・鉦・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事で、各地域の文化の粋を凝らした華やかな飾り付けが特徴です。地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行います。

登録された全国33の行事は、地域文化のアイデンティティや多様性を示しており、芸術的創造性や自治体と協力した保存活動などが評価されました。



県庁舎にも登録を祝う
大きな懸垂幕が掲げられました



高山祭

【例祭】春の高山祭(山王祭) 4月14・15日(左写真)

秋の高山祭(八幡祭) 10月9・10日

【見どころ】

「動く陽明門」とも称される匠の技を凝らした屋台は、春には12台、秋には11台曳き揃えられ、その豪華絢爛な姿を披露してくれます。

夜になると屋台はそれぞれ100個にもおよぶ提灯を灯し、艶やかに夜の闇を飾ります。

文化を継いでいくには慣習を守るだけでなく、時代に即した取組みに挑戦して攻めることが必要です。平成28年の八幡祭では、屋台ごとに設置した無線発信器から、沿革や歴史を約90カ国語で配信。また、祭笛クラブを設立し、小学生25人が屋台に乗って祭りばやしを披露しました。



高山祭保存会理事
寺地亮平さん

古川祭

【例祭】4月19・20日

【見どころ】

勇壮な起し太鼓(動)と絢爛豪華な屋台巡行(静)の対照的な魅力が共存する祭りです。

数百人のさらし姿の裸男たちがかつぐ檣には直径80センチの太太鼓があり、選ばれた男たちが叩くその太鼓の深い音が飛騨古川の町に響き渡ります。

※起し太鼓とは…太太鼓檣(右写真)に、付け太鼓と呼ばれる小さな太鼓を付けようと突入し、各組がせめぎ合います。



祭りの始まりを告げる起し太鼓は、太太鼓と付け太鼓、約1500人の男性による激しい攻防が行われます。祭りが近づくくと血が騒ぎ、古川を離れた人も戻ってきて、地域総出で支えています。担い手が減少しているため、今後は誇りと伝統を守りながら、新しい取組みを始めても良いかもしれません。



古川祭保存会副会長
駒備記扶さん



大垣祭

【例祭】5月15日までの15日に近い土・日

【見どころ】

360年余の伝統を誇り、大垣藩主から賜った3両の軸と、町衆が造った10両の軸が併存する全国的にも希少な祭りです。

濃尾震災や先の大戦によって多くの軸を失いますが、その後、修復や復元などにより再建が進められ平成24年、70年ぶりに全13両の軸が揃いました。

※軸とは…祭礼の時、さまざまな飾り物などをして曳き出す車を言います。江戸時代末期から明治にかけて定着したとされ、西濃地域では、他の祭りでも使われています。

360年以上、町のつながりを生み出してきた大垣祭。大垣藩主と町衆、官民それぞれの軸をご覧いただけます。町から離れた人も、祭りのときには戻ってきます。他地域へ依頼していた軸の修復を地元で行ったり、からくり芸などをできる限り本来の姿に戻しながら引き継いでいきたいです。



大垣祭保存会会長
渡辺彰さん